

東北がんプロフェッショナル養成推進プラン

## 第9回 冬のがん薬物療法セミナー

### 報告書

日時：平成27年12月5日（土）～12月6日（日）

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンター 6A室

平成27年12月17日

## 目 次

・プログラム	1
・ポスター	2
・参加者リスト	3
・報告書	5
・アンケート集計	6
・写真	12

東北がんプロフェッショナル養成推進プラン

共催 NPO 法人東北臨床腫瘍研究会

第9回 冬のがん薬物療法セミナー プログラム

2015年12月5日(土)、12月6日(日) TKP 仙台西ロビジネスセンター6A に於いて

12月5日(土) 司会：城田英和（東北大学医学系研究科地域がん医療推進センター講師）

13:00~14:00 (加齢医学研究所 及び 東北大学病院)	東北大学病院におけるがん治療の実際—東北大学病院・研究室見学 腫瘍内科病棟・外来、化学療法センター、研究室（実験室）説明 担当：高橋雅信（東北大学病院腫瘍内科 講師） 笠原佑記（東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野 大学院生）
14:00~14:30	移動
14:30~14:35 (TKP西ロビジネスセンター)	開会挨拶：石岡千加史（東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野 教授）
14:35~15:20 (45分)	講義1 「がんの診断に必要な検査及び診断時に追加で調べておきたいいくつかの事象」 講師：今井 源 (東北大学病院臨床研究推進センタープロトコール作成支援部門 助教)
15:25~16:10 (45分)	講義2 「高齢者におけるがん薬物療法」 講師：高橋 昌宏（東北大学病院腫瘍内科 助教）
16:10~16:30 (20分)	休憩
16:30~17:10 (40分)	講義3 「EML4-ALK 融合遺伝子：発見から臨床へ」 講師：曾田 学（東京大学大学院医学系研究科生化学・分子生物学講座 助教）
17:15~18:00 (45分)	若手医師による学部生へのキャリアアドバイス（ディスカッションと質疑）

12月6日(日) 司会：城田英和（東北大学医学系研究科地域がん医療推進センター講師）

8:30~9:00 (TKP西ロビジネスセンター)	会場受付開始・症例検討会のグループ分けの発表
9:00~9:40 (40分)	講義4 「腫瘍内科医の役割」 講師：坂本 康寛（大崎市民病院腫瘍内科 科長）
9:45~11:25 (100分)	症例検討会 司会：城田英和（東北大学医学系研究科地域がん医療推進センター 講師）
11:25~11:30	閉会挨拶：森隆弘（東北大学医学系研究科地域がん医療推進センター 教授）

第9回

2015年

12月5日(土) 13:00～18:00

12月6日(日) 8:30～11:30

場所 TKP 仙台西ロビジネスセンター 6A

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-5-31 シエロ仙台ビル6F  
Tel: 022-714-8101 (代表)

受講者定員 20名 参加費 無料(事前申込制)

申込期限 2015年11月24日(火)まで ※期日以降のお申し込みは  
電話(022-717-7087)でお問い合わせください

下記の受講対象となる初期・後期研修医、若手医師、医学部学生に、臨床腫瘍学の基本とトピックをがん薬物療法分野を中心に講義するとともに、教員・受講生間の交流を促進し、東北がんプロフェッショナル養成推進プランの事業を推進する。

## 対象者

東北大学大学院医学研究科・腫瘍専門医コース(がん薬物療法)への入学が来年度に予定されているか、または将来入学を希望する初期・後期研修医、または日本臨床腫瘍学会のがん薬物療法専門医の認定資格を目指す若手医師、及び医学部学生

## 講師

- ・東京大学大学院医学系研究科生化学・分子生物学講座 助教 曾田 学 先生
- ・大崎市民病院腫瘍内科 科長 坂本 康寛 先生
- ・東北大学病院 腫瘍内科 助教 高橋 昌宏 先生
- ・東北大学病院 臨床研究推進センター プロトコール作成支援部門 助教 今井 源 先生

## プログラム

日程等の詳細は、「東北がんプロ」HPに掲載しています。

<http://www.ganpro.med.tohoku.ac.jp>

## 施設見学

- ・東北大学病院見学
- ・研究室・実験室見学
- (腫瘍内科病棟・外来・化学療法センター) (東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野)

## お申し込み方法

「東北がんプロ」のホームページから申込用紙をダウンロード、または裏面の申込み用紙に必要事項を記入の上、FAX又はEメールにてお申込みください。

# 冬のがん薬物療法 セミナー

お問い合わせ

東北がんプロフェッショナル養成推進プラン事務局 (安達)

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町4-1 東北大学医学系研究科地域がん医療推進センター  
Tel: 022-717-7087 Fax: 022-717-7896 E-mail: adachi@med.tohoku.ac.jp

## 教職員・スタッフ

	氏名	所属
1	曾田 学	東京大学大学院医学系研究科生化学・分子生物学講座 助教
2	坂本 康寛	大崎市民病院腫瘍内科 科長
3	石岡 千加史	東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野教授
4	下平 秀樹	東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野准教授
5	森 隆弘	東北大学医学系研究科地域がん医療推進センター教授
6	城田 英和	東北大学医学系研究科地域がん医療推進センター講師
7	高橋 雅信	東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野講師
8	高橋 昌宏	東北大学病院腫瘍内科助教
9	今井 源	東北大学病院臨床研究推進センタープロトコール作成支援部門助教
10	西條 憲	東北大学病院腫瘍内科助教
11	小峰 啓吾	東北大学病院腫瘍内科助教
12	安達 智美	東北大学医学系研究科地域がん医療推進センター事務補助職員

受講者

	所属
1	みやぎ県南中核病院
2	日本海総合病院
3	済生会宇都宮病院
4	八戸市立市民病院
5	栗原中央病院
6	石巻赤十字病院
7	大崎市民病院
8	大崎市民病院
9	大崎市民病院
10	大崎市民病院
11	大崎市民病院
12	大崎市民病院
13	大崎市民病院
14	東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野
15	東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野
16	東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野
17	東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野
18	東北大学病院
19	東北大学病院
20	東北大学病院
21	東北大学医学部
22	東北大学医学部
23	東北大学医学部
24	東北大学医学部
25	東北大学医学部
26	東北大学医学部
27	東北大学医学部
28	東北大学医学部
29	東北大学医学部
30	東北大学医学部
31	東北大学医学部

## 第9回 冬のがん薬物療法セミナー報告

東北がんプロフェッショナル養成推進プラン教育事業の一環として、平成27年12月5日(土)12月6日(日)の2日間、「第9回冬のがん薬物療法セミナー」を実施した。本セミナーでは、東北大学より各領域の専門医が最新のがん治療法を含めた臨床腫瘍学の基本とトピックスを講義した。

また、教員・受講生間の交流を促進し、東北がんプロフェッショナル養成推進プランの事業を推進させた。受講対象は、東北がんプロフェッショナル養成推進プラン 東北大学大学院医学系研究科の腫瘍専門医コース（がん薬物療法）への入学が来年度に予定されているか、将来入学を希望する初期・後期研修医、医学部学生、または日本臨床腫瘍学会のがん薬物療法専門医の認定資格を目指す若手医師である。

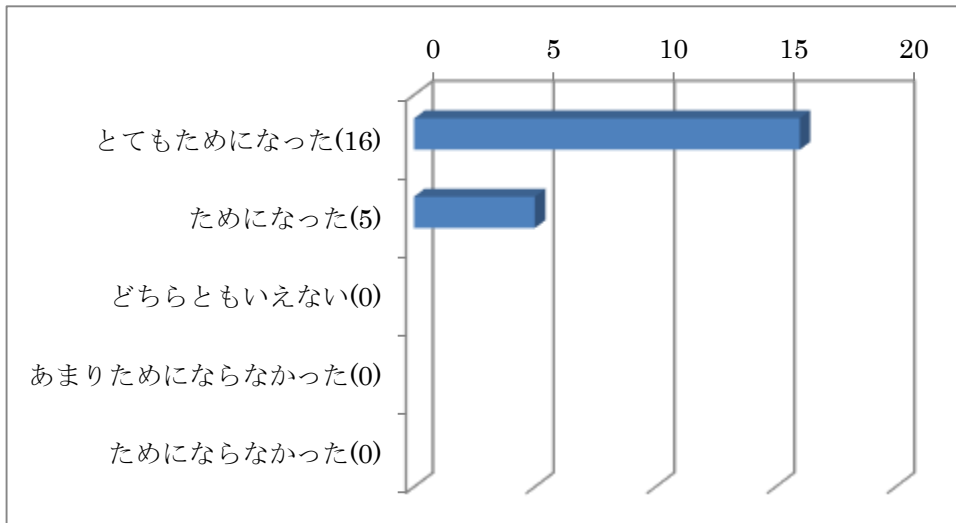
【成果】：本セミナーは、主たる対象を研修医、大学院生、医学部学生および臨床腫瘍学を志す若手医師として設定した。文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン採択後より開始され、毎年1回、冬期に開催しており、その9回目である。今回の参加者は東北地方の病院から若手医師16名、医学部学生11名、大学院生4名であった（この他、外部機関の講師2名、当大学教員9名、事務1名を加えて、合計43名）。内容は、「がん薬物療法学」及びそれに関連した分子生物学的研究を中心とした講義であった。今年度の特徴として、がん遺伝子研究分野における専門家からの講義を加えることで、大学でのがん研究の魅力を伝えるプログラムが組むことができた。また、セミナー終了後にアンケート集計を行ったところ、若手医師、医学部学生、大学院生の回答者21名は「とてもためになった」（16名、76%）または「ためになった」（5名、24%）と回答しており、教育セミナーとして極めて有益であった。（アンケート結果は別紙参照）

【今後の計画】：本セミナーのアンケート調査を基に来年度以降のプランを検討する予定であるが、本セミナーは若手医師への最新の「がん医療」の紹介の場として、上記のように参加者の評価も極めて高い。『がんプロ』は将来のがん治療を指導する医師の育成を目標としたプランであり、教育事業の一環としての本セミナーは今後も引き続き行っていきたいと考えている。

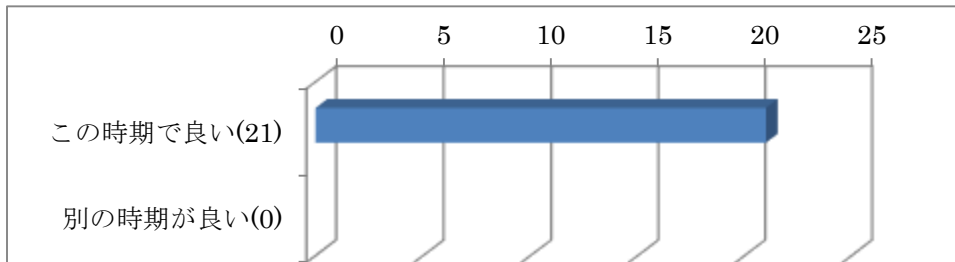
# 受講者アンケート：セミナーの感想等（1）

回答者：21名

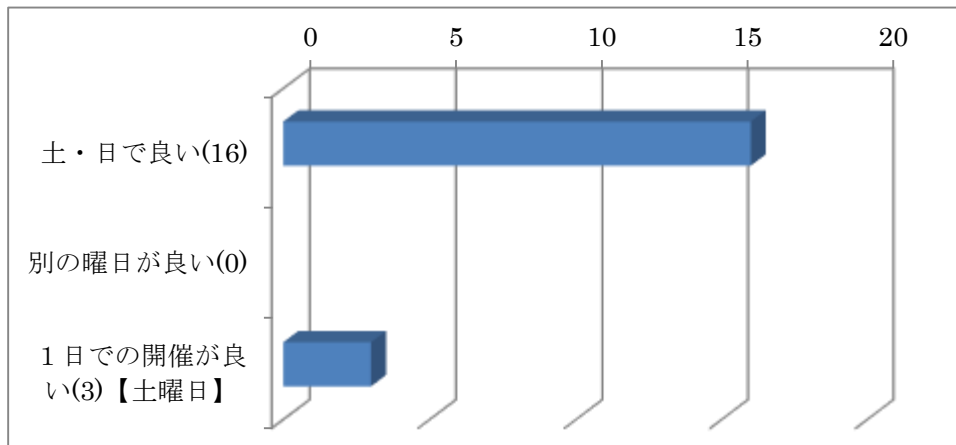
## 1. セミナーの有効性について



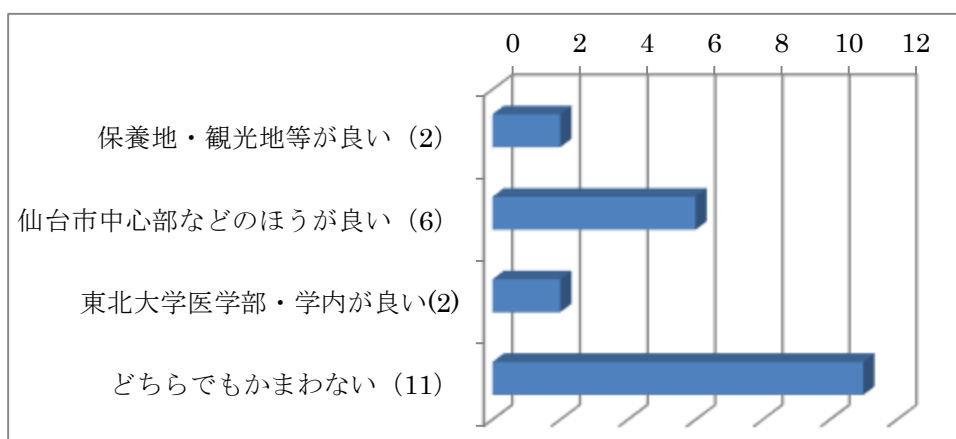
## 2. 開催時期について



## 3. 開催曜日について



## 4. 開催場所について





## 感想

\*がん診断のために知っておくべきことや、高齢者へのがん治療、肺癌 EML4-ALK 遺伝子の臨床について、学生として参加させていただきましたが、大変勉強になる機会をいただき、短い間ではありましたが充実した時間となりました。

\*EML-4-ALK の開発と治療法の確立のお話を直接聞くことができ、がん薬物治療の近年の急速な発展を感じ、おもしろいなと感じました。多くの腫瘍内科の先生や興味を持っている学生と交流することもでき、よかったです。

\*臨床・研究のそれぞれの面からの講義があり、とてもためになりました。ディスカッションも活発で、とても充実した時間でした。

\*検査・治療・研究など、腫瘍に関わる幅広いお話を聞くことができ、有意義でした。

\*現在腫瘍内科を研修しており、興味を持ち参加しました。化学療法に関してまだあまり勉強できていなかったため、今回のセミナーはとても有意義でした。来年のセミナーにも是非参加させていただきたいと思います。

\*研修病院では腫瘍内科がないので、とても勉強になりました。

\*広く知識が得られました。高名な方々のお話も沢山聞いてよかったです。

\*曾田先生の講演がディスカッションまでとても盛り上がり、大変有意義なセミナーに参加でき遠方から来てよかったですと思いました。

\*曖昧だった知識の確認から、全く知らない研究についてまで、様々のことを学ぶことができました。ありがとうございました。

\*とても勉強になりました。また、腫瘍内科に興味のある他の研修医や学生と話せてとてもよかったです。知識の多さなど、とても刺激になりました。

\*曾田先生のお話がとてもおもしろく、わくわくしました。今後行う際も外部の先生に講演いただければと思います。

\*学生から研修医と、対象範囲が広いので、やさしい内容が多く、ややもの足りなかった。研修医には仕事の都合もあるので、1日のみの開催の方が参加しやすいです。

\*腫瘍内科の先生と交流できて楽しかったです。内容はもう少し難しくてもいいかなと思います。

\*勉強になりました。ありがとうございました。

\*2日間のセミナーを終えて、とてもためになり、わかりやすい講義が受けることができ大変勉強になりました。

\*臨床ベースで知識を再整理して検討することができてとても勉強になりました。腫瘍を遺伝子的な側面から考える非常に良い機会でした。ありがとうございました。

## 受講者アンケート：講義内容に関して

12月5日（土）の講義 20名回答

	知識レベルの難易度				
	①	②	③	④	⑤
講師	易しい	やや易しい	普通	やや難しい	難しい
A	1	9	10		
B	1	5	12	2	
C			11	8	1

	プレゼンテーションの分かりやすさ				
	①	②	③	④	⑤
講師	分り易い	やや分り易い	普通	やや分りにくい	分りにくい
A	13	5	2		
B	7	12		1	
C	15	4	1		

## 受講者アンケート：講義内容に関して

12月6日（日）の講義 19名回答

	知識レベルの難易度				
	①	②	③	④	⑤
講師	易しい	やや易しい	普通	やや難しい	難しい
D	5	7	7		
E		3	13	3	

	プレゼンテーションの分かりやすさ				
	①	②	③	④	⑤
講師	分り易い	やや分り易い	普通	やや分りにくい	分りにくい
D	11	7	1		
E	6	11	2		

講義「EML4-ALK 融合遺伝子：発見から臨床へ」  
東京大学大学院医学系研究科生化学・分子生物学講座 助教  
曾田 学 先生



症例検討会

